



鮭稚魚運搬器（約十分の一大）

去る三月千歳孵化場より東京迄四十六時十分間を要し上圖の運搬器に稚魚二千尾を收容し千歳より函館迄は氷を使用し札幌、聯絡船、盛岡にて水を交換し壓搾酸素を約一三〇c.c供給して一尾の死魚も出さず安全に輸送し得たり。
本器は森脇水産試験場長の考案に係るものなり。